

第三期の前回審議会までにおける主なご意見
(下線が今回追加分)

1. 市民意識調査について

- ① 子どもの意見も重要であるため、子どもを対象とした調査も実施できるよう検討する必要があるのではないか。
- ② 子どもを対象とした調査は、無作為抽出以外の方法もあってもよいのではないか。
- ③ 12歳～14歳、15歳～17歳、18歳以上という3種類の調査票をそれぞれ作成する必要があるだろうか。もし同じ趣旨の質問を、言葉を変えて問うだけであれば、例えば、やさしい日本語を使用して統一の設問をつくるなどすれば、3種類作り分ける必要がなくなるかもしれない。
- ④ 調査全体として「〇〇についてどう思うか」と一般論的に問うような調査を行うのか、または、より当事者性に着眼して当事者としてのニーズを掘り起こすような調査を行うのか、調査の趣旨をより明確にした方がよいのではないか。
- ⑤ 自由記述の集計をどのようにするのか、あらかじめ明確にしておいた方がよいのではないか。
- ⑥ 調査票全体にルビを付けたほうがよいのではないか。
- ⑦ 主体的に人権問題を捉えようとするような設問もあってもいいのではないか。
- ⑧ 個別の人権課題をもう少し掘り下げて問う設問が必要ではないか。 ⇒問 11 を充実
- ⑨ 全体的なボリュームを抑えないと、回答率が悪くなるのではないか。 ⇒問数を削減
- ⑩ 今回の調査は全体的な意識を問い、個別具体の課題についてはその結果を踏まえた次回以降の調査で行うのが適切ではないか。 ⇒問 11 を充実
- ⑪ 子ども対象の調査票は、送付時の宛名を工夫する必要があるとともに、どのように回答に取り組むのか方法を記載しておかないと迷うのではないか。 ⇒表紙に記載
- ⑫ 救済の充実を問うような設問があった方がよいのではないか。 ⇒問 19 を充実

2. 推進計画について

- ① 基本方針に示した大きな方向性をより明確にするもとして作成するものととらえている。
- ② 市が持つ他の個別計画等との関係性を考えると(他の計画の上位に位置付くものではないということから)、ある程度抽象的なものにしないと、他の計画等との整合性を取るのが難しいのではないか。
- ③ 進捗管理の方法についてよく検討する必要があるのではないか。